

八丈島 水産だより



6月号
2020年



ハイビスカス



登龍岬からの展望

新型コロナウイルスに関する話題で不安を感じる日々が続きますが、4月上旬に発令された緊急事態宣言が解除されるなど、元の生活に向けて、徐々に明るい話題も増えてきました。八丈島でも、休校が続いていた学校が再開し、元気に登校する子供たちの姿が、島に活気を与えてくれています。夏が近づき、蒸し暑さを感じる日々が増えてきましたが、来たる夏を満喫するためにも、もう一踏ん張り頑張りましょう！

■ 最近の漁模様

今年のトビウオ漁が5月に終了しました。漁獲量は近年の中でも最も少ない結果となりました。「春トビ」とも呼ばれ、町のシンボルとなっているハマトビウオですが、数の変動が激しい魚種として知られており、その漁獲量も年によって大きく変わります。漁協女性部が作るミンチやすり身など、多くの加工品にも重宝されている魚なので、来年以降の漁獲に期待したいところです！



←ハマトビウオ



トビミンチ加工風景→

■ みんなお待ちかね！～学校給食が再開しました～



八丈島の小中学校の準備登校期間の開始に合わせて、学校給食の提供が5月に再開されました！

5月の献立では、トビウオのそぼろ丼(写真：上段)や魚(メダイ)のフライ(写真：下段)など、魚を使ったメニューも提供されています。



普段何気なく食べている料理にどのような魚が使われているのか調べてみてはいかがでしょうか。新しい発見があるかもしれませんよ！